

フィリピン人日本語学習者と教師の漢字学習に対するビリーフ とストラテジー使用—漢字教育の改善のために—

ヴェントウーラ、フランチェスカ

1. 研究の背景

1.1 フィリピンにおける漢字教育の現状

- フィリピンで日本企業または日本での就職を希望している人が増えているが、就職するために日本語能力試験3級または2級に合格することが条件となっている。
- 漢字教育はあまり進んでいない。
→教師はできるだけ漢字の由来を説明し、その後、各字の意味、書き順、訓読み、音読み、熟語を教える。学習者はマスのある漢字シートに漢字を5~10回程度書き写す。熟語の読み練習はフラッシュ・カードを使って行われている。

1.2 フィリピンにおける漢字教育の問題点

- ① フィリピン人日本語学習者は漢字に対して否定的なイメージを持っているのではないかと考える日本語教師は少なくない。
- ② 一般的な日本語の授業は文法中心となっているので、教師は先に文法を説明し、余った時間で漢字を教えることが多い。
- ③ 学習者の漢字学習に対するモチベーションが下がり、欠席が多くなったり、日本語の勉強をやめたりする学習者もいる。

2. 研究の目的

- ① フィリピン人日本語学習者と教師の漢字学習に対するビリーフ及びストラテジー使用を明らかにする。
- ② ①の結果をもとにフィリピンにおける漢字教育の改善案を考える。

3. 先行研究

3.1 言語学習ビリーフ

- Horwitz (1987): 学習者と教師のビリーフを調べるためのアンケートである BALLI (Beliefs About Language Learning) を作成した。
- フィリピンにおけるビリーフ研究: 片桐(2005)、高崎(2006)

3.2 言語学習ストラテジー

- Oxford (1990): SILL (Strategy Inventory for Language Learning) というアンケートを作成した。
- フィリピンにおけるストラテジー研究: デヴェラ (2002)

3.3 学習者の漢字学習に対するビリーフと学習ストラテジー使用

- 大北 (1995): 非漢字系学習者の学習ストラテジーと4つのビリーフを調べた。
- 中村 (1997): 北海道大学留学センターの初級・非漢字系学習者の漢字学習ストラ

デジ使用を調べた。

➤ 陳 (2003) : 台湾の漢字系学習者の漢字学習使用の特徴を明らかにした。

3.4 教師の漢字学習に対するビリーフと漢字教授ストラテジー

➤ Shimizu(1999) : BALLI に基づいたアンケート調査を用いてアメリカとカナダで漢字を教えている教師を対象に、教師の漢字教授に対する態度と漢字教授ストラテジー使用との関係を調べた。

★ 学習者と教師の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用を同時に取り上げ、比較した研究はない。

3.5 漢字学習モデル

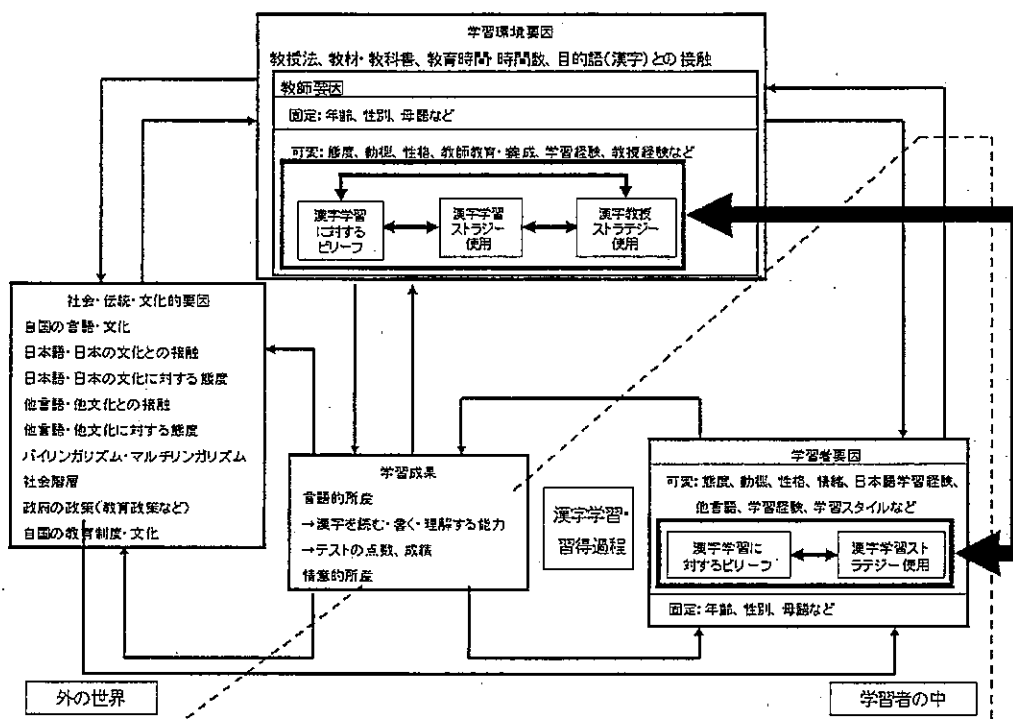


図1 「漢字学習モデル」

漢字教育における問題を解決するために漢字学習過程を全体的に把握する必要がある。それで、筆者は林 (2006) と横山 (2006) を参考にモデル (図1) を作成した。

4. 調査方法

4.1 アンケート調査

4.1.1 学習者に対するアンケート調査

- ・対象者：フィリピン人日本語学習者 (9 機関・209 名)
- ・内容：学習者の特徴、漢字学習に対するビリーフ、漢字学習ストラテジー使用
- ・特徴：4 段階評価 (一部自由記述)、大北(1995)と Shimizu(1999)を参考にした

4.1.2 教師に対するアンケート調査

- ・対象者：フィリピン人日本語学習者 (15 機関・25 名)

- ・内容：教師の特徴、漢字学習に対するビリーフ、漢字教授ストラテジー、漢字学習ストラテジー使用

- ・特徴：4段階評価（一部自由記述）、大北(1995)と Shimizu(1999)を参考にした

4.2 インタビュー

- ・目的：アンケート調査から得た情報を確認し、補足する

- ・対象者：フィリピン人日本語学習者（34名）と教師（8名）に英語とフィリピン語でインタビューを行った

- ・内容：漢字学習に対するビリーフ、漢字教授ストラテジー、漢字学習ストラテジー使用

4.3 データ分析方法

- 漢字学習に対するビリーフ領域：①漢字の社会・伝統・文化的な価値、②漢字の難しさ、③情意面、④適性、⑤漢字の有効性、⑥教師の役割、⑦漢字学習法

- 漢字学習ストラテジー領域：①文脈、②連想、③認知、④メタ認知、⑤補償学習

- 漢字教授ストラテジー領域：①文脈、②連想、③認知、④メタ認知、⑤ゲーム

- 学習者と教師の漢字学習に対するビリーフ及びストラテジー使用を調査してから、記述分析を用いて順位付けを行った。さらに、ビリーフとストラテジー使用の関係を調べるためにビリーフ間、ストラテジー使用間、ビリーフとストラテジー使用間の相関係数を求めた。

5. 結果と考察

5.1 学習者と教師の漢字学習に対するビリーフの比較

- ① 学習者は「教師の役割」への期待が高い。教師も「教師の役割」を自覚しているが、「漢字学習法」の方が重視されている。

- ② 学習者のビリーフは全体的に肯定的だが、教師の方は否定的であり、学習者には漢字学習における適性がないと考えている教師は少なくない。

- ③ 学習者のビリーフの中で「漢字の有効性」が重要な役割を果たしているが、教師のビリーフの中では「漢字学習法」が重要な役割を果たしている。

5.2 学習者と教師の漢字学習ストラテジー使用の比較

- ① 学習者は漢字の形を覚えるストラテジーをよく使用するが、音を覚えるストラテジーはあまり使用しない。教師はどちらもよく使用している。

- ② 学習者は辞書をあまり使用しないが、教師はよく使用している。

- ③ 学習者、教師ともに学習ストラテジーを使用する人は様々なストラテジーを使っている。また、学習者はアンケートの質問項目以外に様々なストラテジーを使っているが、教師はそのほかのストラテジーをあまり使用していない。

5.3 教師の漢字教授ストラテジーと学習者の漢字学習ストラテジー使用の比較

- ① 教師はよく「認知」教授ストラテジーを使用している、学習者もよく「認知」学習ストラテジーを使用している。（例：漢字を教える際、書き順を強調する→新しく習った漢字の書き順を覚える、漢字を学生に繰り返して書かせる→新しく習った漢字を繰り返して書く、漢字を教える際、それを既習の仮名や漢字と関連付け

る→新しく習った漢字を既習の仮名や漢字と関連付ける)

★教師の教授ストラテジーは学習者の学習ストラテジーに影響を与えている。

- ② 教師の教授ストラテジー使用は「情意面」「教師の役割」に関するビリーフと相関があり、学習者の学習ストラテジー使用は「漢字の有効性」「情意面」「学習法」に関するビリーフと相関がある。

★教師と学習者のストラテジー使用に異なる要素が働いている。

6. 漢字教育への提案

- ① 学習者が漢字学習に対して肯定的であることを認識しながら漢字指導を行う
- ② 漢字の有効性を意識した授業を行い、それを強調する教授ストラテジーを用いる
- ③ 教師も新しい学習ストラテジー・教授ストラテジーを積極的に取り入れる

7. 今後の課題

- ① 機関別、また、学習者の性質別による分析
- ② アンケートの調整
- ③ 縦断研究
- ④ ネイティブ教師を対象にすること

8. 参考文献

- 大北葉子 (1995) 「漢字ストラテジーと学生の漢字学習に対する信念」『世界の日本語教育』5、105-124.
- 片桐潤二 (2005) 「フィリピンにおける日本語学習者の言語学習 Beliefs—フィリピン大学日本語 受講生調査から—」『国際交流基金日本語教育紀要』第1号、85-101.
- 高崎美千代 (2006) 「フィリピン・マニラ首都圏の大学における日本語学習者のビリーフ—歴史的・社会的背景の視点からの考察—」『国際交流基金日本語教育紀要』2号、65-80.
- 陳毓敏 (2003) 「台湾人日本語学習者の漢字・漢語学習ストラテジーにおける実態調査及び考察」、『日本語教育と異文化理解』2、50-58.
- デヴェラ、ローナ・ヴェリア (2002) 「フィリピンの大学レベルの日本語教師と学習者による自律学習の意識」『日本語教育指導養成プログラム論集』、71-91.
- 中村重穂 (1997) 「日本語学習者の漢字学習ストラテジーに関する調査と考察」『日本語教育研究』33、107-121.
- 日本語教育学会編 (2005) 『新版日本語教育事典』大修館書店
- 林さと子 (2006) 「第二言語習得研究から見た第二言語学習/習得の個別性」『ことばを学ぶ一人ひとりを理解する第二言語学習 と個別性』津田塾大学言語文化研究所 言語学習の個別性研究グループ編 春風社、48-58.
- 横山詔一他 (2006) 「文字コミュニケーションにおける異体字の選好と親近度：再調査法による信頼性の検討—」『社会言語科学』、9、16-26.
- Horwitz, Elaine K. (1997) Surveying Student Beliefs About Language Learning. In Wenden, A. and Rubin, J. (eds.) *Learner Strategies in Language Learning*. London: Prentice-Hall.
- Oxford, R. L. (1990) *Language learning strategies: What every teacher should know*. Boston: Heinle.
- Shimizu, H. (1999) *Language Teachers Attitudes Towards Teaching Kanji in the Japanese Language Curriculum*. Doctoral Dissertation. University of Denver.

表1: 学習者の漢字学習に対するピリーフ(上位)

順位	番号	ピリーフ	平均値	標準偏差	グループ
1	30	漢字を勉強するとき練習と復習は欠かせない。	3.86	.476	漢字学習法
2	17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3.55	.518	有効性
3	16	努力すれば、漢字学習に成功できる。	3.55	.545	漢字学習法
4	C	漢字を勉強することは大切だ。	3.50	.535	有効性
5	31	教師は学生に宿題と練習を与えるべきだ。	3.49	.529	教師の役割
6	27	教師は本やウェブサイトのようなリソースを紹介すべきだ。	3.44	.561	教師の役割
7	21	漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。	3.40	.597	教師の役割
8	34	漢字の勉強を面白くするために教師はゲームやゲーム的な教室活動を利用すべきだ。	3.38	.569	教師の役割
9	9	中国語を勉強した学生はほかの学生より日本語を書くのが得意だ。	3.36	.644	適性
10	28	私の先生は漢字の読み書きを教えるのが好きだ。	3.32	.577	情意

表2: 教師の漢字学習に対するピリーフ(上位)

順位	番号	ピリーフ	平均値	標準偏差	グループ
1	27	教師は本やウェブサイトなどを学生に紹介するべきだ。	3.72	.458	教師の役割
2	30	漢字を勉強する時、練習と復習は欠かせない。	3.68	.476	漢字学習法
3	41	努力すれば、漢字学習に成功できる。	3.56	.507	漢字学習法
4	10	中国語を勉強した学生はほかの学生より漢字の意味を覚えるのが得意だ。	3.54	.588	適性
5	31	教師は学生に宿題と練習を与えるべきだ。	3.52	.510	教師の役割
6	17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3.52	.510	有効性
7	21	漢字を教える際に、教師は様々な教授法を使用しなければならない工夫をしなければならない。	3.45	.510	教師の役割
8	9	中国語を勉強した学生はほかの学生より日本語を書くのが得意だ。	3.44	.621	適性
9	C	漢字を教えるのは大切だ。	3.40	.577	有効性
10	6	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	3.36	.490	漢字学習法

表3: 学習者の漢字学習に対するピリーフ(下位)

順位	番号	ピリーフ	平均値	標準偏差	グループ
42	40	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	1.67	.651	情意面
41	39	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	1.66	.662	情意面

表4: 教師の漢字学習に対するピリーフ(下位)

順位	番号	ピリーフ	平均値	標準偏差	グループ
40	3	私の国から来た学生は漢字を勉強するのが得意だ。	2.23	.532	適性
34	16	私の国から来た日本語学習者は漢字を勉強するのが好きではない。	2.56	.621	情意

表5: 学習者の漢字学習に対するピリーフ間の相関

	社会・伝統・文化的価値	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の役割	漢字学習法
社会・伝統・文化的価値	1						
難しさ	.024	1					
適性	-.174*	.026	1				
有効性	.303**	-.108	.187**	1			
情意面	.167*	-.212**	-.050	.506**	1		
教師の役割	.280**	.091	.317**	.415**	.284**	1	
漢字学習法	.281**	.038	.195**	.449**	.335**	.498**	1

表6: 教師の漢字学習に対するピリーフ間の相関

	社会・伝統・文化的価値	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の役割	漢字学習法
社会・伝統・文化的価値	1						
難しさ	-.541**	1					
適性	.111	.107	1				
有効性	.321	-.421*	.300	1			
情意面	.064	.244	-.163	.263	1		
教師の役割	.234	-.063	-.013	.394	.477*	1	
漢字学習法	.335	-.163	-.143	.449**	.400*	.403*	1

表7: 漢字学習ストラテジー使用(上位)

順位	学習者	教師
1	新しく習った漢字を繰り返して書く	知らない漢字を見たら、その漢字をすぐ辞書で調べる
2	新しく習った漢字の形を目で覚える	新しく習った漢字の書き順を暗記する
3	似ている漢字の違いを観察する	新しく習った漢字を覚えるためにそれを繰り返して書く
4	新しく習った漢字の書き順を暗記する	漢字の訓読みと音読みを同時に覚える
5	新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける	新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける

表8: 学習者の漢字学習
ストラテジー間の相関

	LS文脈	LS連想	LS認知	LSメタ認知	LS補償
LS文脈	1				
LS連想	.521**	1			
LS認知	.556**	.579**	1		
LSメタ認知	.503**	.510**	.558**	1	
LS補償	.249**	.299**	.263**	.151*	1

表9: 教師の漢字学習
ストラテジー間の相関

	LS文脈	LS連想	LS認知	LSメタ認知	LS補償
LS文脈	1				
LS連想	.731**	1			
LS認知	.690**	.714**	1		
LSメタ認知	.606**	.644**	.435*	1	
LS補償	.410*	.340	.241	.443*	1

表10: 教師の漢字学習に対する
ビリーフと教授ストラテジー使用の相関

	社会・ 伝統・ 文化的 な価値	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字 学習法
TS文脈	.089	.022	-.114	-.173	.491*	.416*	-.013
TS連想	-.073	.073	-.079	.044	.376	.258	-.072
TS認知	.422*	-.098	.087	.101	.418*	.151	.156
TSメタ認知	-.018	.204	-.054	-.098	.550**	.256	.077
TSゲーム	.047	.358	.062	-.215	.324	.402*	-.154

表11: 学習者の漢字学習に対する
ビリーフと漢字学習ストラテジー使用の関係

	社会・ 伝統・ 文化的 な価値	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字 学習法
LS文脈	.203**	-.076	-.027	.367**	.366**	.139*	.179**
LS連想	.257**	.032	.074	.261**	.288**	.248**	.336**
LS認知	.126	-.065	-.089	.277**	.377**	.174*	.301**
LSメタ認知	.199**	-.001	-.100	.317**	.414**	.129	.287**
LS補償	.108	.172*	-.044	.173*	.214**	.090	.142*

表12: 教師の漢字教授ストラテジー使用 (上位)

順位	番号	ストラテジー	平均値	標準 偏差	グループ
1	8	漢字を教えるとき書き順を強調する	3.44	.712	認知
2	2	漢字を教える際に新しい漢字を既習仮名 や漢字と関連付ける	3.04	.889	連想
3	1	学生に繰り返し漢字を書かせる	3.00	.816	認知
4	12	学生に様々な漢字学習ストラテジーを紹 介する	2.96	.735	メタ認知
5	14	学生に漢字を覚えるためのストーリーを 作らせる	2.92	.909	メタ認知

表13: 教師の漢字教授ストラテジー使用 (下位)

順位	番号	ストラテジー	平均値	標準 偏差	グループ
18	3	文章や会話を眺ませることによって漢字 を教える	2.12	.927	文脈
17	9	漢字を教える際に生教材を利用する	2.20	.764	文脈
16	17	コンピューターやインターネットをリソース として利用する	2.24	.970	メタ認知
15	16	勉強を楽しくするためにゲームを利用する	2.44	.768	ゲーム
14	5	日常的な場面で見られる文章(看板・メ ニューなど)を見せる	2.44	.821	文脈